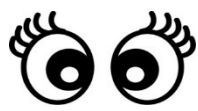


令和2年度

兵庫県立視覚特別支援学校

支援部

アイ・あい だより

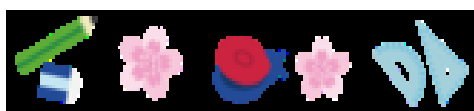


4月号

ご入学・ご進級



おめでとうございます！



今年は、新型コロナウイルスの影響もあり、いろいろなところで混乱したのではないのでしょうか。本校も、臨時休校となり、子どもたちの姿が見えない学校は、静まり返っています。

さて、新年度を迎え、支援部では職員一同、心機一転 気持ちを引き締め、ひとりひとりのニーズに応じた相談や情報提供ができるよう、支援の充実を図っていきたくと考えています。今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。

相談室から（お願い）

兵庫県立で唯一の視覚障害特別支援学校として、県内全域の見え方に困難を感じている方の支援・相談を行っています。昨年度も多くの方とつながり、たくさんの方の相談をお受けしました。ありがとうございました。ご家庭、学校園や関係機関と連携した、よりよい支援を目指したいと思っております。

今年度の相談について、以下のように考えております。よろしくお願いいたします。

1. 学校園との連携について

教育相談を受けている視覚障害幼児児童生徒の学習環境や、指導の様子を見せていただき、助言させていただくことで、個々の障害の理解を深め、日々の指導や対応を、より適切なものにしていただくと考えています。弱視学級も、弱視学級以外（通常学級や特別支援学校、幼稚園など）も、できるだけ早い時期に呼んでいただくとありがたいです。また、担任の先生方は、来校相談に是非ご同席ください。なお、学校園訪問の旅費は、要請学校園でご負担いただきますよう、お願いします。

2. 来校相談について

0歳から大人まで、幅広い年齢の相談を受け付けています。午前は10時から、午後は13時30分から、1回2時間程度を基本としています。あらかじめ予約を取ってご来校ください。多数の相談を受けたり、県内各地に出向いたりしているため、ご希望の日時に予約が入れない場合がありますが、ご了承ください。

予約の時間に15分以上遅れる場合は、必ずご連絡いただきますよう、お願いします。



支援部 相談担当の紹介



今年度の相談室は、北浦（コーディネーター長）・島田（副部長）が専任として中心的に相談を担当し、淡路の支援を島田・菊井が担当させていただきます。また、福島（支援部長）が補佐として相談に同席させていただくこともあります。どうぞよろしくお願いいたします。



北浦 裕記

引き続き、教育相談を担当させていただきます。教育相談で出会う子どもたちは、1回1回の変化は見えにくくても、1年たつと「成長したなあ」と感じられます。毎年、この姿を見させていただけることに感謝しています。今年度も楽しく学んでいきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

島田 由美子



本校の教育相談を受け持って10年目になりました。インクルーシブが進む昨今ですが、まだまだ特別支援教育は、子どもたち一人一人をしっかりと理解し、適切な対応・指導が求められる状況にあります。本人・保護者に寄り添いながら、現実を見据えて、将来の自立につながるようなアドバイスができる教育相談になればと思います。今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。



菊井 澄人

淡路地域のアイ・あいスクールや教育相談、また視覚補助具やパソコン・iPadの活用、デジタル教科書の申請、成人の相談などにも携わらせていただきます。弱視である自らの経験をいかして視覚障害児・者側に立ち、より良い支援を子どもや保護者の皆さんと共に考え、一緒に目標に向かって進んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

福島 雄一郎



4月から支援部長に就任しました福島と申します。新型コロナウイルスの影響で見通しを持つのが難しい状況ではありますが、学校が再開した時に皆様が安心して相談を受けられるようお手伝いできればと考えております。教育相談には環境整備や記録等の補佐として同席させていただくこともありますので、1年間よろしくお願いいたします。

※1学期と夏休みに、下記の行事を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの影響により日程を変更させていただくことになりました。日程が決まり次第、ご案内させていただきます。

- ・視覚障害児童・生徒担任交流会
- ・保護者交流会
- ・サマースクール
- ・視覚障害のガイドヘルプ&点字体験
- ・弱視教育研修会

